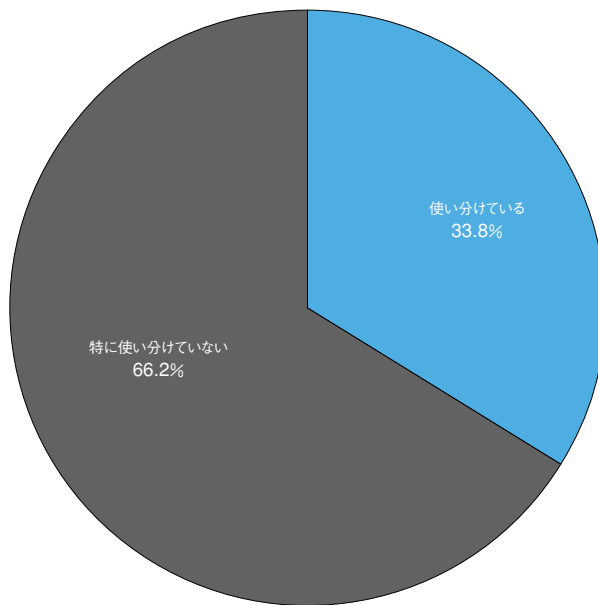


検索サービス

33.8%が検索サービスを「使い分けている」

資料2-1-14 検索サービスの使い分け N=1,681

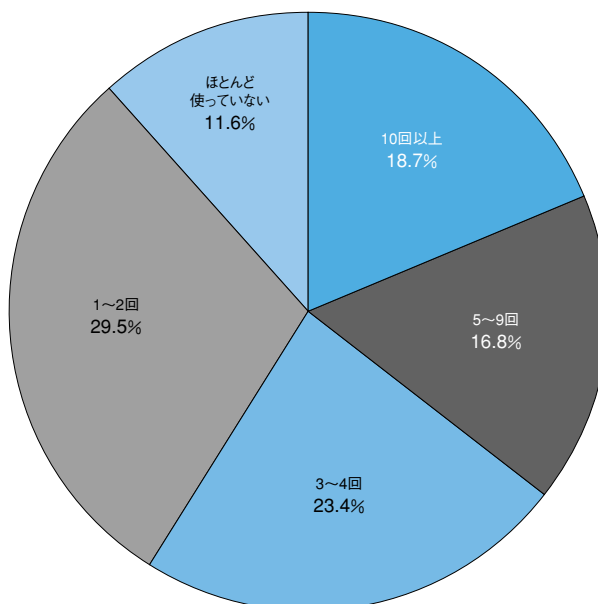


©Access Media/impress R&D,2006

検索サービスを利用している回答者1,681サンプルに対して、検索サービスの使い分けの有無を聞いた。検索サービスの平均利用数は3.27であるが、複数利用者の中で使い分けているのは、33.8%である。年代別では10代、20代の若年層に多い。また、利用歴別では「10年以上」のインターネット歴が長い利用者の使い分け率が過半数を超えており、効率的な検索術を駆使していると思われる。

検索の1日利用回数は、過半数が1日平均4回以下

資料2-1-15 検索サービスの1日平均利用頻度 N=1,681



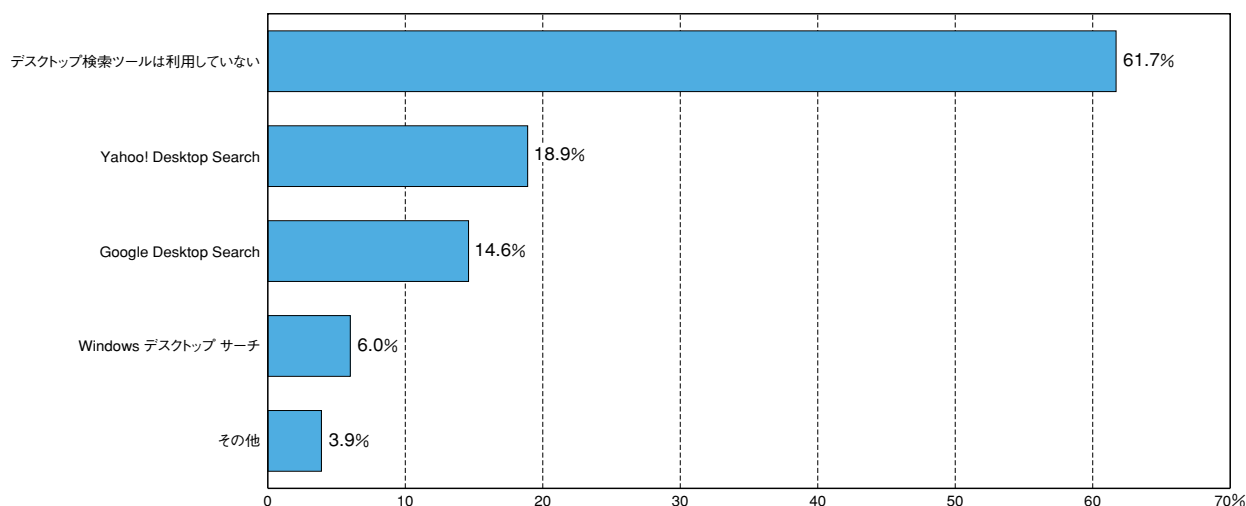
©Access Media/impress R&D,2006

検索サービス利用者1,681サンプルの検索サービスの1日平均利用頻度は、「1回~2回」が29.5%、次いで「3回~4回」が23.4%と4回未満で半数を占める。年代別で見ると、10代、20代は「10回以上」が2割以上と高い。検索サービスの使い分け比率も高いこの層は、効率よく頻繁に検索サービスを利用していることがわかる。

検索サービス

デスクトップ検索ツールの利用率は40%程度

資料2-1-16 利用しているデスクトップ検索ツール（複数回答） N=1,705

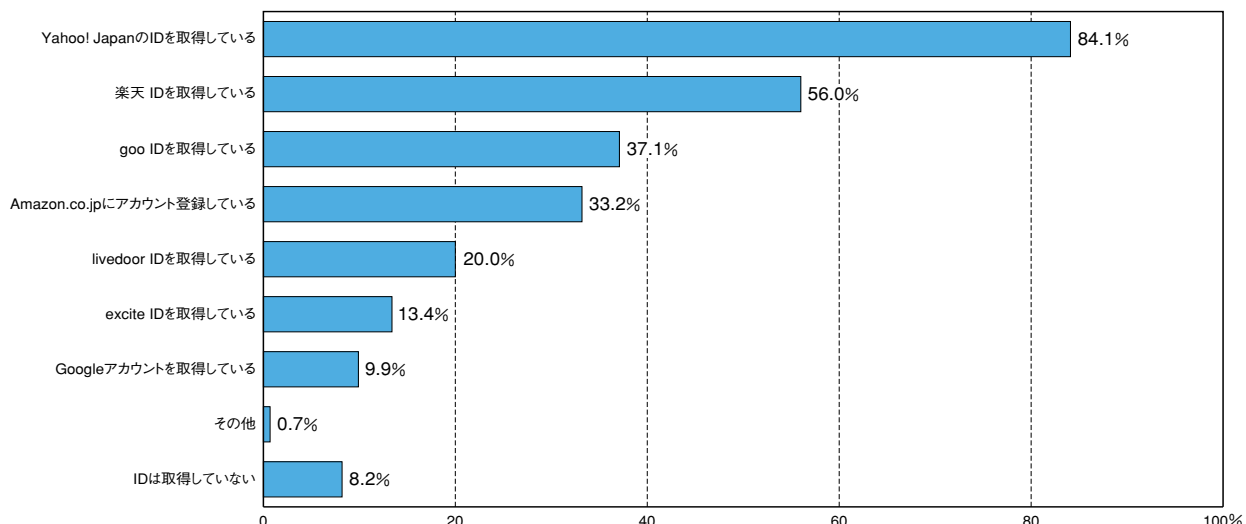


©Access Media/impress R&D,2006

デスクトップ検索ツールの利用について全員に聞いたところ、利用者は40%以下にとどまり、ウェブ検索ツールほど利用されていない。デスクトップ検索ツールとは、OSに付随している検索ツールとは異なり、インデックス検索など高速処理、高機能が追加されているが、個人のパソコン内部を検索するという点で、セキュリティなどの面からまだ不安があるものと思われる。

ID取得者トップは「Yahoo! JAPAN」84.1%、次いで「楽天」56.0%

資料2-1-17 大手サイトのID取得状況（複数回答） N=1,681



©Access Media/impress R&D,2006

ポータルサイトでの検索サービスやウェブメール、その他のサービスを利用するためのID登録を行っている回答者は、9割以上を占める。最も多いのは、「Yahoo! JAPANのIDを取得している」で84.1%、ウェブ検索サービスの利用率と同様にトップである。またオンラインショッピングサイト大手の「楽天IDを取得している」も56.0%と高い。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp